

各自治体のWebから読み解るアクセシビリティ

前田 哲

近年、企業だけでなく一般家庭でもインターネット回線が敷かれ、Web ページを年齢、環境、人種関係なく閲覧できるようになった。また、技術者だけでなく一般の人もWebページ作成に関与するようになった。作成する側と閲覧する側、それぞれが利用しやすい環境にあるといえる。ただし、すべてのHTML(HyperText Markup Language) が正しい仕様に則って作成されているわけではなく、自治体のWeb ページも例外ではない。利用者層が広く幅広い年代から利用される各自治体のWeb ページは、障がい者への配慮も考えた作成が必要である。そのため、本研究ではWeb アクセシビリティの観点から既存のシステム AnotherHTML-lint5 を使用して全国各自治体の調査を行った。調査結果によるWebアクセシビリティの確保がされているかについては「高齢者擬似体験装置」を用いて筆者を含む複数名の実体験にて調査を行い、今後どのようにHTML を訂正・作成すればよいかプログラム実行結果を記載している。